

## **福島消防団出初式祝辞（R7.1.4）**

あらためまして、新年あけましておめでとうございます。

出初式が盛会裏に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

ただ今、表彰されました団員の皆様、誠におめでとうございます。

健康に留意され今後とも益々ご活躍くださいますようお願い申し上げます。

団員・署員の皆様には、日頃から予消防活動に精励されております事に感謝の気持ちを込めまして敬意を表します。

昨年元旦に発生しました能登半島の地震・津波の犠牲者・行方不明者は、500名を超え、未だ復旧・復興が思うように進んでおりませんし、全国的に地球温暖化が進行し、異常気象の局地的集中豪雨による洪水や土石流、竜巻の被害、地震も頻繁に発生、火災による高齢者の死亡等が、毎日のように報道されており、災害対策に対する多くの課題が突きつけられていると思慮しております。

過疎・少子高齢化が進み、老々介護・独居世帯が増加する福島町としての新たな防災対策の作成作業が進められておりますが、不安を払拭することができない課題も多くあり、対処療法が中心となりますが、万全の体制をめざして、町づくりの基本である、「協働」、そして「自助」「互助」「公助」の認識をあらためて、徹底することも重要ですし、災害に備えて、町民個々、家族、町内会、職場、団体、組織として、何をしなければならないのか、何ができるのかを考慮し、全体的な調整・対応を行政が、しっかり誘導していかなければなりません。

地域に根ざした消防団の活動は、町民の協働意識醸成の模範となるものであり、中村団長を中心になお一層活動に精励され、町民の皆様の期待に応えていただきますようお願いを申し上げます。

皆様にとりまして良い年になりますよう心からご祈念いたしまして、大変素地ですが祝辞とさせていただきます。

大変ご苦勞様でした。 終わります。